

平成 26 年度臨床教育助産師育成プログラム

I. 臨床教育助産師育成プログラムの目的

臨床教育助産師に期待する能力を強化する。

II. 臨床教育助産師に期待する能力

1. 助産観・倫理観・専門知識に基づいて的確に判断し、熟練した助産・看護技術を提供し、指導する。
2. 助産実践を通して役割モデルを看護スタッフに示し、助産の魅力を伝える。
3. 教育的視点を持って看護スタッフとかがかわる。

III. 育成プログラム

臨床教育助産師に期待する能力を強化するために、二つの学習プログラムを設定する。

1. 自身の助産・看護実践の質向上のために、臨床判断力を強化するためのプログラム
2. 部署全体の看護の質向上に向けて、部署の助産師(看護師)の学びをサポートする力を強化するためのプログラム

1. 自身の助産・看護実践の質向上のために、臨床判断力を強化するためのプログラム

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己の実践を分析し、助産観を概念化する。 2. 助産理論を理解し、実践につなげることができる。また、助産実践場面を振り返りながら助産の意味や価値を見出し、次の助産実践につなげる。
------	---

到達目標 1 自己の実践分析し、助産観を概念化する。		
単元	学習課題	学習内容並びに方法
第 1 回	実践における看護理論の活用について考える。	1. 講義：看護理論とは
第 2 回 ～ 第 4 回	事例をもとに、各自が助産の何を大切にしているかを、対話を通して分析する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個人ワーク／発表／対話 2. テーマ「助産実践においてわたしが大切にしていること」を記述し、各自の大切にしている部分を分析し、なぜ、大切にしているのか、それは看護実践においてどういう意味あるいは価値をもつのか、対話を通して、それぞれの認知フレームを変更していく。そのプロセスで、各自が、その大切にしている部分の根底にある、自身の人間観、健康観、環境観、助産観を見出し、それを概念化していく。
第 5 回 第 6 回	自身の「看護実践においてわたしが大切にしていること」を発表し、検討後レポートを作成する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個人ワーク／発表／対話 第 1 回～4 回をもとに、自身の人間観、健康観、環境観、助産観について発表し、対話後にレポートを作成する。

到達目標 2 助産理論を理解し、実践につなげる。 助産実践場面を振り返りながら助産の意味や価値を見出し、次の助産実践につなげる。		
単元	学習課題	学習内容並びに方法
第 1 回	看護・助産の質とは何かを検討する。	1. 講義: 看護の質 2. 対話 テーマ「看護師のしていることは全て看護か」
第 2 回	倫理的思考・批判的思考について理解する。	1. 講義: 倫理的思考・批判的思考について
第 3 回 ～ 第 9 回	倫理的思考、批判的思考について、リフレクションによる事例検討を通して学ぶ。	1. 個人ワーク／発表／対話 倫理的問題のある事例を記述し、対話によって倫理的思考、批判的思考について理解を深める。
第 10 回 ～ 第 18 回	助産に必要な知識を学ぶ 看護・助産実践を振り返りながら、助産の意味や価値を見出し、次の助産実践につなげる方法を習得する。	ガイダンス: この単元の目標と学習概要の説明 1. 実習前準備 1) 妊娠期の健康審査、分娩介助を妊婦人形およびファントームを使用し演習する。 2) 演習後自己課題を明確にする。 2. 実習 1) 母子女性診療科外来にて妊婦健診および保健指導 5 例 2) 母子女性診療科病棟(6A)にて分娩介助 3 例 3) 上記外来および病棟にて継続事例 1 例 3. 実習後事例検討 1) 自己の助産観の概念を明確にし、助産の質を検討する。 2) 自己の課題を見出し、次の助産実践につなげる。 4. 講義: 不妊治療
特別講義	国際助産学・災害時の助産活動について理解する。	1. 看護学科教員による講義: 国際助産学・災害時の助産活動

2. 部署全体の看護の質向上に向けて、部署の看護師の学びをサポートする力を強化するためのプログラム

到達目標	<p>1. 成人の学びとは、成人の学びをサポートするとは何か、職場における看護師の学びのサポート体制とは何か理解する。</p> <p>2. 部署の助産師(看護師)の学びをサポートするという視点で、自部署の質向上のための計画を立案する。</p>
------	---

到達目標 1: 成人の学びとは、成人の学びをサポートするとは何か、職場における看護師の学びのサポート体制とは何か、理解する。		
単元	学習課題	学習内容並びに方法
第1回 第2回	リフレクション・対話について理解する。	1. 講義: よりよい看護実践をサポートするために要請される「リフレクション」「対話」とは何か
第3回 ～ 第5回	成人教育・経験学習について理解する。 対象者理解、対象者の立場に立ったサポートについて理解する。	1. 講義: 成人教育・経験学習 2. 個人ワーク／発表／対話 自身と他者(看護師)との関わりの中で「伝えたいことが伝わらなかった」と思う場面を、プロセスレコードに記述し、対話によって自分の傾向、対象者を理解すること、対象者の立場に沿ったサポートとは何か理解を深める。
第6回	教育評価、評価について理解する。	1. 講義: 教育評価について 2. 個人ワーク／発表／対話 自身のなりたい看護師像とそのために実施することを記述し、評価する視点で対話する。
第7回	看護師養成教育の現状と課題、看護教育カリキュラムについて、看護継続教育の意義について理解する。	1. 看護学科教員による講義: 看護師養成教育の現状と課題、看護教育カリキュラムについて、看護継続教育の意義について

到達目標 2 部署の看護師の学びをサポートするという視点で、自部署の看護の質向上のための計画を立案する。		
単元	学習課題	学習内容並びに方法
第1回 ～ 第4回	自部署の看護の質向上という視点で、自部署の課題について他部署と比較検討する。	1. 院内留学前 課題の提示: 自部署の看護の質について考えるために、課題を明確にし、発表する→留学先の部署へ事前にその課題を提示する。 2. 院内留学(他部署で1日勤務をする) 3. 院内留学後 院内留学の課題についてまとめ、発表する。
第5回 ～ 第14回	部署の助産師(看護師)の学びをサポートするという視点で、自部署の看護の質向上のための計画を立案する。	1. 個人ワーク／グループワーク 部署の助産師(看護師)の学びをサポートする視点で、部署全体の看護の質向上のための計画を立案する。 2. 発表／対話 それぞれが立案した計画を、対話を通して洗練させる。